

高校2年次「社会と情報」の課題（第2回）について

令和2年5月11日

情報科

2回目の取り組みについて連絡します。1回目と同様に取り組んでください。取り組み方は前回と同様で、次のとおりです。

【取り組み方】

- 1 課題をダウンロードする。（この次のページからの部分です。）
紙の形にした方が取り組みやすいかもしれませんが、その必要はありません。
- 2 解答用紙のファイルをダウンロードする。（この PDF とは別の Word 形式のファイルです。）
これも、紙の形にする必要はありません。
- 3 課題を読み、教科書の対象ページを読んで考える、答えを探る。
- 4 次のいずれかの方法で解答を作る。
 - (1) 解答用紙のファイルに入力して保存する。
Word 形式のファイルなので、コンピュータや携帯端末で直接入力・編集することができます。それに入力して保存をしてください。
 - (2) 紙の形の方がよい場合は、印刷して書き込む方法でも構いません。
 - (3) (1)(2)のいずれも難しい場合は、答えにあたる教科書の部分をマーカー等でチェックするだけでも後で楽かもしれません。
- 5 解答用紙を提出する。
 - (1) 解答用紙のファイルとして保存した場合は、次のいずれかで提出する。
USB に保存して、最初の授業に USB を持参する。携帯端末への保存はできているが、USB への移動が難しいという場合は、最初の授業の際に申し出てください。
 - (2) 紙の形にした場合は、最初の授業で提出する。
 - (3) 最初の授業で課題と解答用紙を受け取り、2回目の授業で提出する。

休校が延長となり、今後どのようなことになるか分からないところですので、早めに取り組んでおいてください。それから、取り組んだ結果としてのファイルは削除したり紛失したりしないように、取扱いには注意をしてください。

5 法規による安全対策 教科書▶P.70～P.71

確認問題

1 個人情報に関する法制度

個人情報保護に積極的に取り組むことを促進するために（1）などの法整備が進められた。また、個人情報の適切な保護措置を行っている会社などの事業者に対して与えられるマークとして、（2）がある。

2 商取引に関する法制度

取引を公正にし、購入者などの損害を防止するため、(1) 法により通信販売業者などが規制されている。また、(2) 法により、あらかじめ同意した者に対してのみ送信が認められる(3) が導入され迷惑メール対策の強化がはかられた。

また、(4) 法により、消費者の操作ミスによる申込みを防ぐために、消費者が申込みを行う前にその申込み内容を確認する措置などを事業者に求めている。

3 不正アクセス禁止法

不正アクセス禁止法は、(1) 権限のないコンピュータへのアクセスを行うことを禁止する法律である。他人のパスワードなどを第三者に漏らすと、(2) 行為とされる。

4 プロバイダ責任制限法

インターネットでは、掲示板への誹謗・中傷や個人情報などの掲載、音楽 CD や映画、ソフトウェアなどの著作物の違法（１）のやり取りや、不正な（２）交換などの犯罪行為が後を絶たない。これらに対応して（３）法が施行された。

練習問題

5 個人情報に関する法制度 個人情報保護法に関する次の(1)～(5)の文章のうち、適切なものに○、適切でないものに×を記入しなさい。

- (1) 企業などは、個人情報の取り扱いが適切であることを、プライバシーマークで消費者に向けてアピールすることができる。
- (2) 電話帳のように一般に公開されている刊行物の内容は、個人情報とはいえない。
- (3) 本人の同意なしに第三者へ個人情報を受け渡すことは、禁じられている。
- (4) 個人情報取扱事業者が規制の対象だから、個人的に年賀状を出すために住所・氏名などを保管していても問題はない。
- (5) 同姓同名の人がたくさんいる場合は、氏名だけのデータでは個人情報とはいえない。

6 商取引に関する法制度 次の(1)～(3)の文章は、何の法律について説明したものか。下の語群から選び、記号で答えなさい。

- (1) 消費者保護のため、通信販売業者などが規制されている。
- (2) オプトイン方式が導入されている。
- (3) 消費者の操作ミスを救済する。

<語群>.....

ア. 電子消費者契約法 イ. 特定商取引法 ウ. 特定電子メール法

7 法規による安全対策 次の(1)～(6)の内容は、どの法律に違反していると考えられるか。下の語群から選び、記号で答えなさい。

- (1) インターネット通信販売で、事業者の住所が明記されていなかった。
- (2) Web サイト中の画像をクリックしただけで、いきなり有料サイトへの入会申込みとして処理され、支払い請求を受けた。
- (3) 送信者情報を偽った広告・宣伝メールの送信をした。
- (4) インターネットのゲームサイトで、パスワードを ID と同じにして入力したら、他人のアカウントでログインすることができた。
- (5) 懸賞への応募者のデータを無断で使用して新商品のお知らせを送付した。
- (6) 個人情報付きの写真などが Web ページ上に公開されているので、プライバシーの侵害だと情報発信者の情報開示をプロバイダに請求したが、応じてくれなかった。

<語群>.....

ア. 個人情報保護法 イ. 特定商取引法 ウ. 特定電子メール法
エ. 電子消費者契約法 オ. 不正アクセス禁止法
カ. プロバイダ責任制限法

6 知的財産権の概要と産業財産権 教科書▶P.72～P.73

確認問題

1 知的財産権

小説を書いたり、コンピュータのプログラムを開発したり、新しい商品を考案したりするなど、知的な(1)活動から生産されたものを他人が無断で使用して(2)を得たりすることができないように、創作した人に与えられる権利を(3)権という。

我が国を含む(4)に加盟している国は、互いの国の著作物に対して(3)権を保護する法律を制定している。我が国では、明治32年に著作権法が制定され、その後、必要に応じて改正されている。

(3)権には、(5)権(広義)や(6)権などがある。

2 産業財産権

産業財産権とは、産業に関する新しい技術やデザイン、商標について開発した人に与えられる

(1) 権利であり、これをまとめたのが以下の表である。これらの権利は、特許庁に出願して認められた時点で得ることができ、これを(2)という。また、特許庁に登録された発明などを広く公表することで新しい発明につながり、(3)をさらに発展させ、新たな価値を創造することが期待されている。

名称	内容	保護期間
(4) 権	自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度なもののといえる(5)を独占的に使用できる権利	出願から最長(6)年
(7) 権	自然法則を利用した技術的思想の創作のうち物品の形状、構造などの(8)を独占的に使用できる権利	出願から最長(9)年
(10) 権	物品の形状や模様、色彩などの視覚を通じて美感を起こさせる(11)を独占的に使用できる権利	登録から最長(12)年
(13) 権	自他を区別するための文字、図形、記号、色彩などの(14)を独占的に使用できる権利	登録から原則(15)年 (更新可)

練習問題

3 産業財産権 次の(1)～(4)は、産業財産権のうちのどの権利に該当するか。下の語群から選び、記号で答えなさい。

- (1) 小型軽量化した携帯電話用電池に関する発明
- (2) 自社の車に付けるエンブレムのマーク
- (3) 形を工夫して水切りをよくした新型の洗濯機の考案
- (4) スマートな姿に見えるジャケットの模様や色彩に関するデザイン

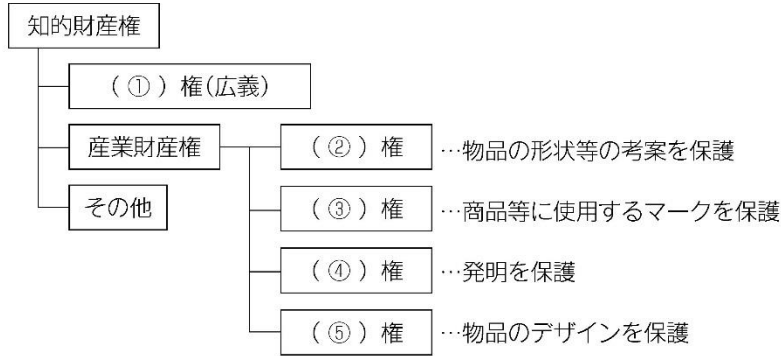
<語群>.....

ア. 意匠権 イ. 商標権 ウ. 実用新案権 エ. 特許権

4 産業財産権 産業財産権に関する次の(1)～(5)の文章のうち、適切なものに○、適切でないものに×を記入しなさい。

- (1) 同じ発明であっても先に出願した発明のみが特許となり、後に出願した発明は特許にならない。
- (2) 発明は、アイデアや思い付きでも権利として認められる。
- (3) 特許は、誰でも無料で出願することができる。
- (4) 商標には、漢字やローマ字などの文字のほかに記号や図形も使用できる。
- (5) 特許の出願は、東京特許許可局へ行わなければならない。

5 知的財産権 次の表は、知的財産権の種類についてまとめたものである。下の問いに答えなさい。



(1) 表中の①～⑤に当てはまる適語を記入しなさい。

(2) 表中の「その他」としてある権利を、下の語群からすべて選び、記号で答えなさい。

<語群>.....

ア. パブリシティ権 イ. 植物の品種を開発した権利

ウ. 半導体集積回路の回路配置に関する権利 エ. 独占生産権

(3) 知的財産権は、その目的に注目すると、「創作意欲の促進を目的とした権利」(A)と「営業上の信用維持を目的とした権利」(B)の2つに大別することもできる。表中の①～⑤の権利をAとBに分類しなさい。

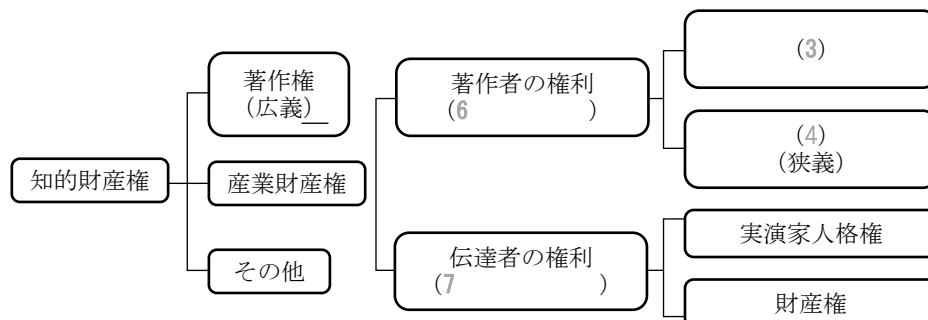
7-1 著作権(1) 教科書▶P.74～P.75

確認問題

1 著作者の権利(著作権)

著作権法は、著作者等の権利の保護をはかり、(1))に寄与することを目的としている。

著作物とは、「思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」と定義されている。また、著作権は、著作物が創作された時点で自動的に与えられ、権利を得るための手続きや登録を行う必要はない。これを(2))という。著作者の権利には、著作者が精神的に傷つけられないための(3))と、経済的な不利益をこうむらないための(4))の2つがあり、後者を狭義の著作権ということがある。また、前者の保護期間は、著作者が生存している期間であり、死後、権利は消滅するが、著作者が亡くなっても、原則として、(3)の侵害となる行為は避けるべきである。後者の保護期間は、著作者の死後(5))年までである。



2 伝達者の権利（著作隣接権）

著作隣接権は、実演家やレコード製作者、放送事業者など、著作物等を（1 ）する者に与えられる権利で、演奏や放送を行った時点で権利が発生する。例えば、テレビ放送の音楽番組は作曲しているわけではないが、番組を制作する過程でその曲を効果的に演出する工夫が行われている。そのため、著作隣接権といわれる伝達者の権利が付与される。これには、作者の権利同様、（2 ）権や（3 ）で利用されない権利、（4 ）を求める権利がある。保護期間は伝達後（5 ）年である。

練習問題

3 作者の権利（著作権） 次のア～ソのうち、著作権法上での著作物をすべて選びなさい。

- ア. 地震速報 イ. アニメ ウ. レポート エ. グラビア
オ. マンガ カ. 書 キ. アイデアや理論 ク. キャッチフレーズ
ケ. 地名 コ. 翻訳された書籍 サ. 自動車や電気製品のデザイン
シ. 膨大な時間や費用をかけて計測したデータ ス. 作文
セ. 流行語 ソ. 新聞

4 作者の権利（著作権） 著作権に関する次の(1)～(5)の文章のうち、適切なものに○、適切でないものに×を記入しなさい。

- (1) 既存のプログラムのアイデアだけを利用し、同じ目的のプログラムの全体を新たに作成した場合でも、著作権の侵害になる。
(2) 著作者人格権は、他人に譲渡することができない。
(3) 著作物に著作権表示が明記されていない場合、無断で複製して配布しても著作権の侵害にはならない。
(4) 映画を除いて、著作者人格権と著作財産権の保護期間を比べると、後者の期間の方が長い。
(5) 著作権は、著作物が創作された時点で自動的に与えられる。

5 作者の権利（著作権） 次の(1)～(5)は、作者の権利について説明したものである。該当する権利の名称を書きなさい。

- (1) 著作物を公表するか、しないかを定める権利
(2) 著作物の内容などを意に反して改変されない権利
(3) 著作物を複製する権利
(4) 映画の著作物を譲渡または貸与する権利
(5) 美術の著作物を展示する権利

6 伝達者の権利（著作隣接権） 次の文章は、著作物の伝達者の権利について説明したものである。①～⑤に当てはまる適語を書きなさい。

著作物の伝達者には、実演家、（ ① ）製作者、（ ② ）事業者、有線放送事業者があるが、（ ③ ）のみに人格権が与えられている。これは、人格権が個人の人格的利益を保護するための権利だからである。また、

著作者人格権には、公表権、氏名表示権、（ ④ ）保持権の3つの権利があるが、伝達者の人格権には、（ ⑤ ）権が与えられていない。これは、実演が行われる際には、公表を前提としているからである。

7 権利の譲渡・相続 次のア～クの権利のうち、譲渡したり、相続したりすることのできる権利をすべて選びなさい。

- ア. 公表権 イ. 複製権 ウ. 頒布権 エ. 氏名表示権
オ. 同一性保持権 カ. 貸与権 キ. 翻案権 ク. 公衆送信権

7-2 著作権（2） 教科書▶P.76～P.77

確認問題

1 著作権の例外規定

著作権法は、下の表のように一定の（1 ）な場合に（2 ）などを制限して、著作権者などに許諾を得ることなく利用できることを定めている。ただし(2)が制限される場合でも、(3)は制限されないとされている。

著作権（財産権）の例外規定（権利制限）

例外規定の例	内容の一部
（4 ）のための複製	個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内での（4）
図書館等における複製	公立図書館など政令で定める図書館で営利を目的としない複製で、著作物の一部分かつ1人1部
引用	引用の必然性、主従の関係が明確、区分が明確、（5 ）・出典の明示が必要
教科用図書等への掲載	学校教育の目的上必要と認められる限度で教科書への著作物の掲載
学校教育番組の（6 ）等	学校教育の目的上必要と認められる限度で学校教育番組における著作物の（6）
学校その他の教育機関における複製等	教育を担任する者および（7 ）者がその（8 ）で使うもので著作権者の（9 ）を不当に害さないことが必要
試験問題としての複製等	営利目的ではない入学試験や採用試験などの問題としての複製
点字による複製等	視覚障がい者のために点字に複製、聴覚障がい者のために放送に字幕を付与
営利を目的としない上演等	公表された著作物の上演・演奏・上映・口述で、鑑賞のための（10 ）を取らないこと

練習問題

2 著作権の例外規定 例外的に許可なく著作物を利用できる場合がある。その例外に該当するものを、次のア～オのうちからすべて選びなさい。

- ア. 友人のためにテレビ番組を録画して、友人にあげた。
イ. レポートを作成するため、Web ページ上の統計データの一部を引用した。

- ウ. 高校の文化祭で、有名な脚本家の演劇を上演したが、予算をオーバーしそうなので入場料を 100 円取った。
エ. 高校のブラスバンド部で、市販の楽譜を全員分コピーして使った。
オ. 高校の体育祭のプラカードに、有名なアニメのキャラクターをかいて使用した。

3 著作権の例外規定 次の(1)～(5)の行為はどのような権利を侵害しているか。下の語群からすべて選び、記号で答えなさい。

- (1) 購入した CD の楽曲を、無断で自分の Web ページからダウンロードできるようにしている。
(2) 外国の小説を無断で^{ほんやく}翻訳して Web ページで公開した。
(3) 有名なアイドルの写真集の写真を無断でコピーし、カレンダーを作って売った。
(4) 動画共有サイトに無断でアップロードされていた市販の最新 DVD 映像を、ダウンロードして鑑賞した。
(5) アニメキャラクターの写真を無断で合成して年賀状に使った。

<語群>.....

- ア. 公衆送信権 イ. 上映権 ウ. 著作隣接権 エ. 同一性保持権
オ. 頒布権 カ. 複製権 キ. 翻案権 ク. 翻訳権 ケ. 肖像権
コ. パブリシティ権

4 著作権の例外規定 引用とは、自分の著作物に公表された他人の著作物を掲載する行為である。次の(1)～(5)の文章のうち、引用として適切なものに○、適切でないものに×を記入しなさい。

- (1) インターネット上の読書感想をそのままコピーして、自分の宿題の感想文を作った。
(2) 自分のブログに、インターネットニュースの記事をそのまま掲載した。その際、一般に公開されているものだから、どの Web ページからコピーしたかを特に書かなかった。
(3) 他人の論文中の 2 行ほどを、自分の論文に「」でくくって掲載した。その際、著作者名等も明記した。
(4) 10 ページの他人の論文を、そのまますべて自分の論文に掲載した。その際、著作者名等も明記した。苦勞したが合計 12 ページの論文が完成した。
(5) インターネット上の評論をコピーして自分の論文に使用した。その際、著作者名等も明記し、評論を枠の中に記載したが、スペースの関係でそのままではなく要約した上で掲載した。
